

間質性肺炎合併肺癌（呼吸器内科）

臨床研究の名称	抗線維化薬投与下間質性肺疾患患者における原発性肺癌発症後の治療と予後の実態調査：多施設共同後方視的研究
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 部長 馬場 智尚
研究の概要	【目的】 間質性肺炎では多くの合併症が知られていますが、中でも肺癌の合併は重大な問題と考えられています。間質性肺炎に合併した肺癌の治療についてはこれまでいくつか報告がありますが、間質性肺炎の進行を抑えるための抗線維化薬を使用している患者さんに肺癌が合併した場合の治療や経過については、十分な報告はありませんでした。そのため本研究では間質性肺炎に対して抗線維化薬による治療を受けている患者さんのうち、原発性肺癌を発症した患者さんについて、実際に行われた治療やその後の経過について調査することを目的とします。 【対象患者】 2016年4月1日から2024年3月31日の間に当センターを含む各共同研究機関で抗線維化薬を投与された間質性肺炎の患者さんで原発性肺癌を発症した方 【方法】 カルテから収集した診療情報は、個人が特定できないよう氏名等を削除し、研究代表者の所属機関である順天堂大学医学部附属順天堂医院・呼吸器内科に提供・集積し、解析します。 【使用する情報】 2016年4月1日から2026年1月31日までのカルテ等の診療情報：診断名、年齢、性別、喫煙歴、アスベストなどの粉塵吸入歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、呼吸機能検査、間質性肺炎の重症度、原発性肺癌のステージ、治療内容（間質性肺炎、原発性肺癌ともに）、生存期間、原発性肺癌に対して治療が行われた方は無増悪生存期間 【提供の開始予定日】 2026年6月開始予定 【研究代表者および所属機関】 順天堂大学医学部附属順天堂医院 呼吸器内科 加藤 元康 【共同研究機関】 順天堂大学医学部附属順天堂医院、北海道大学病院、東邦大学医療センター大森病院、広島大学病院、獨協医科大学、福岡大学筑紫病院、長崎大学病院、久留米大学病院、神戸市立医療センター中央市民病院、

	坪井病院、神戸市立医療センター西市民病院、福島県立医科大学、福岡大学病院、東京科学大学病院、札幌医科大学附属病院、国立病院機構天竜病院、千葉大学病院、天理よろづ相談所病院、近畿中央呼吸器センター、日本医科大学、自治医科大学、東京慈恵会医科大学、京都大学医学部附属病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター、近畿大学医学部、国立国際医療センター、浜松医科大学、金沢大学附属病院、九州医療センター、順天堂大学医学部附属浦安病院
問い合わせ先	呼吸器内科 部長 馬場 智尚 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東 6-16-1 神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号 045-701-9581（代表）

2026 年 6 月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。